【新ひだか町】　校務ＤＸ計画

令和６年度に町内全ての小中学校に校務支援システムを導入し、校務管理・学籍管理・成績管理・保健管理や教員同士の情報共有のデジタル化を推進し、教職員の校務の効率化及び資質能力・指導力の向上を図っている。

また、教員間の連絡手段のＩＣＴ化としてグループチャットを導入した。このことにより即時に最新の情報を全員で共有することができ、学校で起こる課題や問題に対し、確実かつタイムリーに対応することが可能となっている。

学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、引き続き、原則、メールや共有フォルダを利用して行い、押印についても原則廃止に取り組んでいる。

その他、保護者とのメールによる連絡システム等、既に導入されているシステムなどを効果的に活用するとともに、教職員の負担軽減につながるシステム等の導入の検討などを進めていく。

ＩＣＴを最大限に活用して校務の効率化を図ることで、教職員の事務負担等を軽減し、児童生徒と向き合う時間を確保し、教職員の働き方改革を推進する。